

# 河合橋デザイン検討会議



第2回会議資料 2017.11.06

議題1 ; デザインコンセプトについて

議題2 ; 部材のデザインポイント

議題3 ; 全体デザインの調和について (第3回)

## ■デザイン・コンセプト キーワード

前回の会議で委員の皆様から頂いたご意見をキーワードとして抽出しました。

歩道が狭い, 伊勢神宮の宇治橋, 下鴨神社, 参拝経路, 武田五一, ベビーカー, 離合できない, アニメの聖地巡礼, 葵祭, 歴史ある橋, 仕事と学びを結びつけた橋, 鴨川デルタから眺める風景, エリア全体を高める, 昔と今では求める安全性が違う, 今の社会に応じた対策, 武田五一が関わった橋梁群 (賀茂大橋他), 外から見られる橋, 糺の森が下鴨神社の参道, 神社建築, 京都の風致, 京都の風景, 自然と歴史の文化を守る, サステナビリティ (持続可能な), 水辺とその風景, 河と河が出合う, 河と人が出会う, 人と人が出会う, 交愛橋, 安心, 3つの橋, 鴨川デルタ, 鴨川公園, 学生の花見, 総合的にデザインする, パッチギ (映画) の舞台, 写真を撮るためのビューポイント (視点場), 水害の負の遺産, 物見橋, 賀茂大橋, 出町橋, 2橋の連続性, 飾り立てるスポット, 訪れる人を迎える玄関, 擬宝珠, 灯籠, 灯籠で鴨川デルタを囲う, 荘厳する, 親水空間, 古いだけでなく新しさを取り入れる, 歴史に敬意, ブラケット (支持具) の縦のライン, まちとまちを繋ぐ, 聖域である森, 自然である川, 繋ぐ橋, ブラケットと柱が線でそろう

## ■デザイン・コンセプト キーワード

抽出したキーワードについてグループに分類しています。

※似ているワードを色分けで表示しています。

歩道が狭い, 伊勢神宮の宇治橋, 下鴨神社, 参拝経路, 武田五一, ベビーカー, 離合できない, アニメの聖地巡礼, 葵祭, 歴史ある橋, 仕事と学びを結びつけた橋, 鴨川デルタから眺める風景, エリア全体を高める, 昔と今では求める安全性が違う, 今の社会に応じた対策, 武田五一が関わった橋梁群 (賀茂大橋他), 外から見られる橋, 糺の森が下鴨神社の参道, 神社建築, 京都の風致, 京都の風景, 自然と歴史の文化を守る, サステイナビリティ (持続可能な), 水辺とその風景, 河と河が会う, 河と人が会う, 人と人が会う, 交差橋, 安心, 3つの橋, 鴨川デルタ, 鴨川公園, 学生の花見, 総合的にデザインする, パッチギ (映画) の舞台, 写真を撮るためのビューポイント (視点場), 水害の負の遺産, 物見橋, 賀茂大橋, 出町橋, 2橋の連続性, 飾り立てるスポット, 訪れる人を迎える玄関, 擬宝珠, 灯籠, 灯籠で鴨川デルタを囲う, 荘厳する, 親水空間, 古いだけでなく新しさを取り入れる, 歴史に敬意, ブラケット (支持具) の縦のライン, まちとまちを繋ぐ, 聖域である森, 自然である川, 繋ぐ橋, ブラケットと柱が線でそろう

## ■デザイン・コンセプト キーワード

グループごとにタイトルを付けて整理したキーワード

**【安全】** 歩道が狭い, 離合できない, ベビーカー, 安心, 今の社会に応じた対策, 昔と今では求める安全性が違う, 古いだけでなく新しさを取り入れる

**【下鴨神社】** 訪れる人を迎える玄関, 参拝経路, 下鴨神社, 糺の森が下鴨神社の参道, 灯籠, 伊勢神宮の宇治橋, 聖域である森, 神社建築, 擬宝珠

**【外から見られるデザイン】**  
外から見られる橋, エリア全体を高める, 総合的にデザインする, 飾り立てるスポット, 灯籠で鴨川デルタを囲う, 鴨川デルタから眺める風景, 荘厳する, ブラケット(支持具)の縦のライン, ブラケットと柱が線でそろろう

**【出会いの場(舞台)】**  
河と河が会う, 人と人が会う, 河と人が会う, 交愛橋(かわいばし), まちとまちを繋ぐ, 繋ぐ橋, パッチギ(映画)の舞台, アニメの聖地巡礼

**【歴史】** 武田五一, 武田五一が関わった橋梁群(賀茂大橋他), 歴史ある橋, 歴史に敬意, 水害の負の遺産, 自然と歴史の文化を守る

**【河合橋を取り巻く風景】**  
水辺とその風景, 京都の風景, 京都の風致, 自然である川, 親水空間, 鴨川公園, 鴨川デルタ, 学生の花見, 2橋の連続性, 賀茂大橋, 出町橋, 3つの橋, サステイナビリティ(持続可能な)

## ■デザイン・コンセプト（案）

キーワードから導き出したデザイン・コンセプト（案）

・ 歴史を継承し，参道・玄関にふさわしいデザイン

・ さまざまな出会いの場を安全に繋げるデザイン

・ 取り巻く風景と調和し，外から見られることを意識した  
デザイン

ここで、委員の皆様の見解から導いたデザイン・コンセプト（案）について、ご意見を伺いたいと思います。



## ■デザイン検討対象部材

① ブラケット（支持具）

② 歩道舗装

③ 車両用防護柵

④ 歩道照明

⑤ 高欄

第2回会議検討事項



ブラケット（支持具）



歩道舗装、車両用防護柵、歩道照明、高欄



## ■ デザイン検討対象部材

⑥ 灯籠

⑦ 橋桁の塗装

⑧ 橋詰め

第3回会議検討事項



灯籠



橋桁の塗装



橋詰め

## ■ ブラケット（支持具）

### 【前提条件】

- ・ 曲線を有した形状とする。
- ・ 軽量化を図る。



既設ブラケット



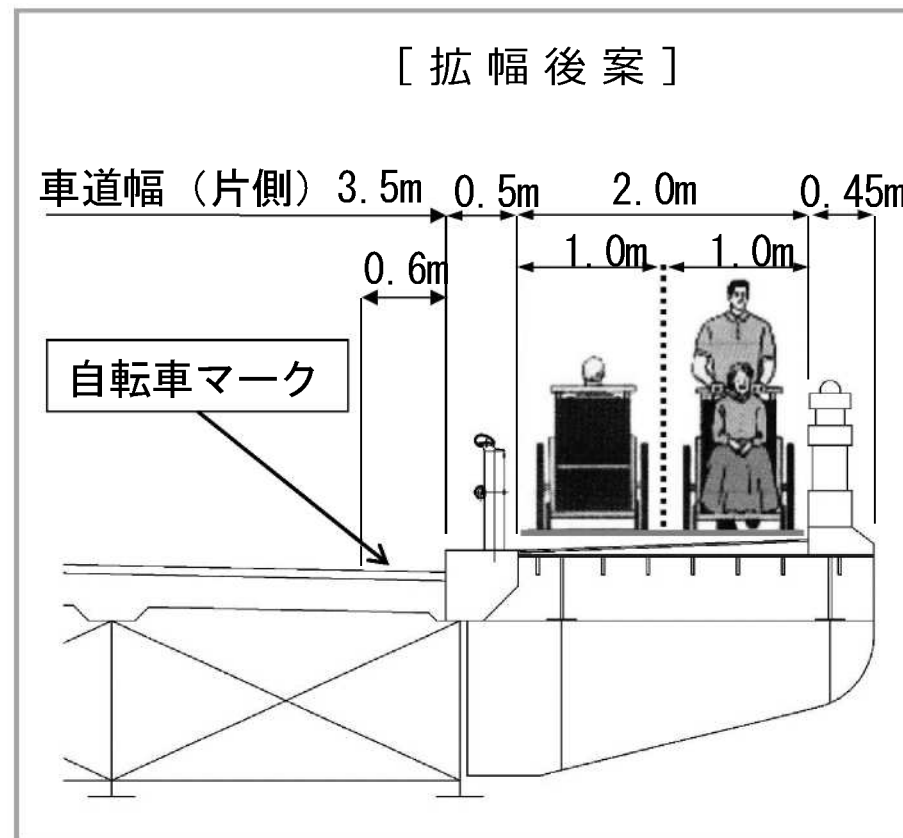
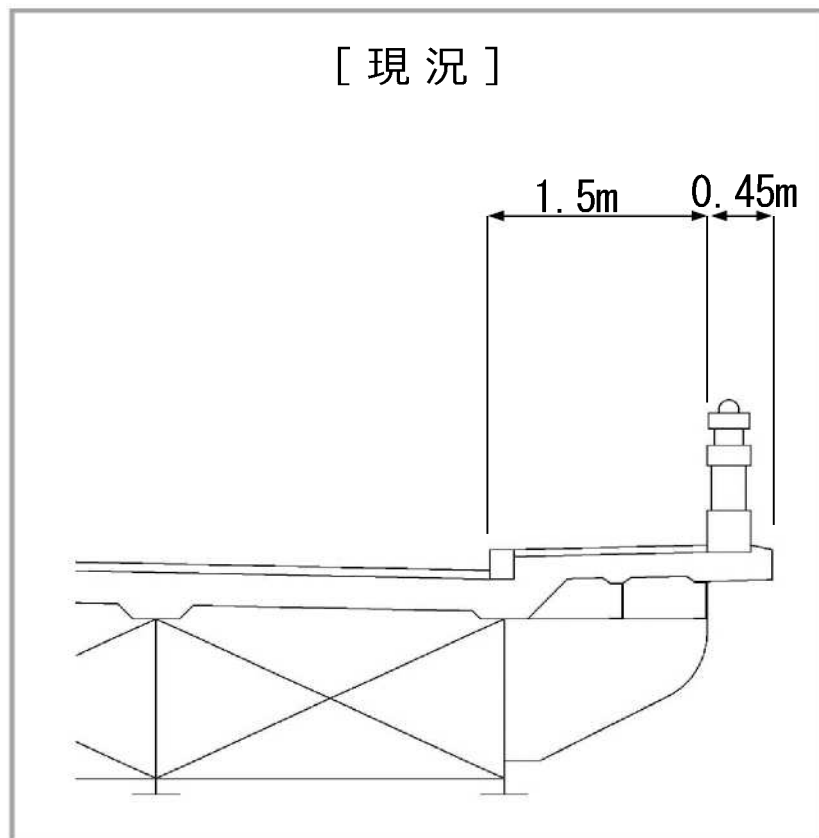
ブラケットが石製高欄の柱と同じ位置に規則的に配置され、一体感を生み出している



曲線を有したブラケットが連なって見える

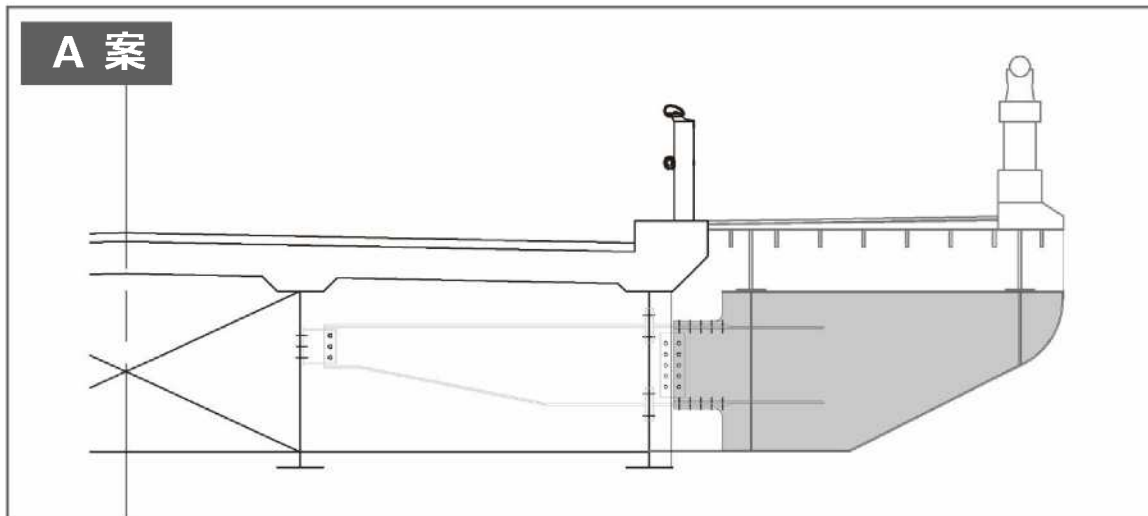
## ■ブラケット（支持具）

- ・歩行者の安全対策として、歩道の拡幅を行います。
- ・歩道幅員は、車いすやベビーカーが2台すれ違える2.0mを目標にしております。
- ・自転車が通行する場所について、自転車マークを路面に標示します。

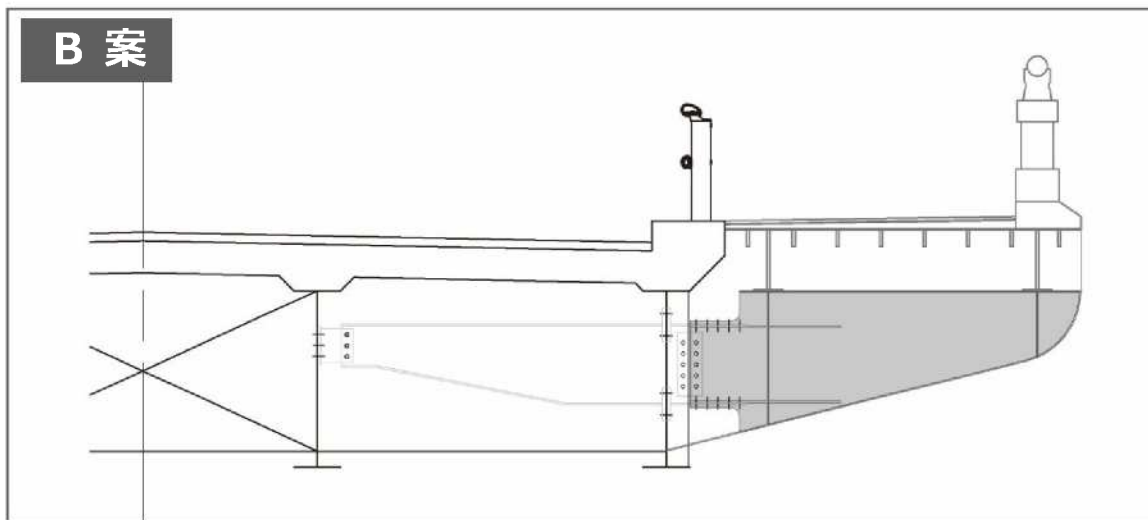


## ■ ブラケット（支持具）

### ● ブラケットのデザイン



- ・ 傾斜角度は既設ブラケットに合わせ、拡幅分を水平に延長する。



- ・ 拡幅に伴い、傾斜を緩くする。
- ・ 軽量化出来る。

## ■ブラケット（支持具）

### ●ブラケットのデザイン

A案の模型



B案の模型





## ■ブラケット（支持具）

### ●ブラケットの間隔

#### イ案

- ・現況と同様に石製高欄支柱位置にブラケットを設ける。



#### ロ案

- ・構造的に最も適した配置にブラケットを設置する。



- ブラケット（支持具）
- ブラケットの間隔

イ案





## ■ブラケット（支持具）

### ●ブラケットの間隔

□案



## ■ ブラケット（支持具）

### ● ブラケット案比較

イ案



ロ案



## ■ 歩道舗装

### 【前提条件】

- 歩道拡幅を行うため、軽量の素材を選定する。



(現況)

## ■ 歩道舗装

### ● 舗装材の検討

A 案



石畳風舗装

※本物の石材は，採用不可

B 案



アスファルト舗装



## ■ 歩道舗装

### ● 歩道舗装デザイン

- 『京のみちデザイン指針』における舗装材配置の考え方は右の通り

#### ア 舗装材の配置の考え方

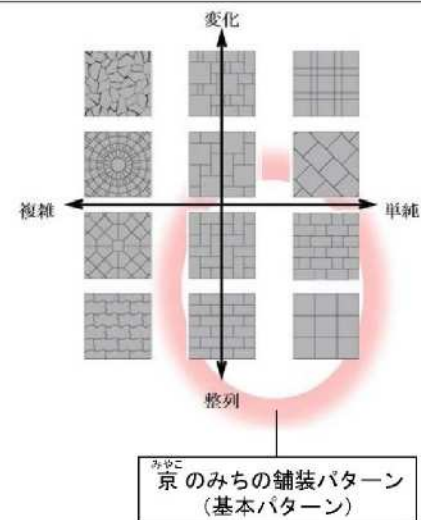
ブロック系の舗装材の配置（舗装パターン）についての考え方は、以下のとおりとする。

- 落ち着きを感じさせ、周辺景観を引き立てるように、舗装材の貼り方はできるだけ整列した単純なものとする。
- 標準的な舗装材の配置（舗装パターン）としては、みちの方向に沿った目地とする。
- 縁石、側溝などとの取り合いは、形状も含め配慮が必要である。



#### 舗装パターン

様々な舗装パターンのうち「京のみち」の基本となるパターンを示す。  
基本的にみちの方向に沿った単純なものとし、変化をつける場合でも煩雑でデザイン過剰なものは避ける。



#### 標準的な舗装パターンの事例

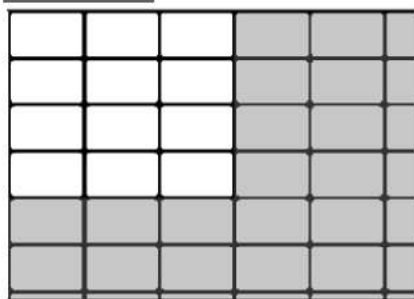


抜粋「京のみちデザイン指針P.16」

## ■ 歩道舗装

### ● 配置比較

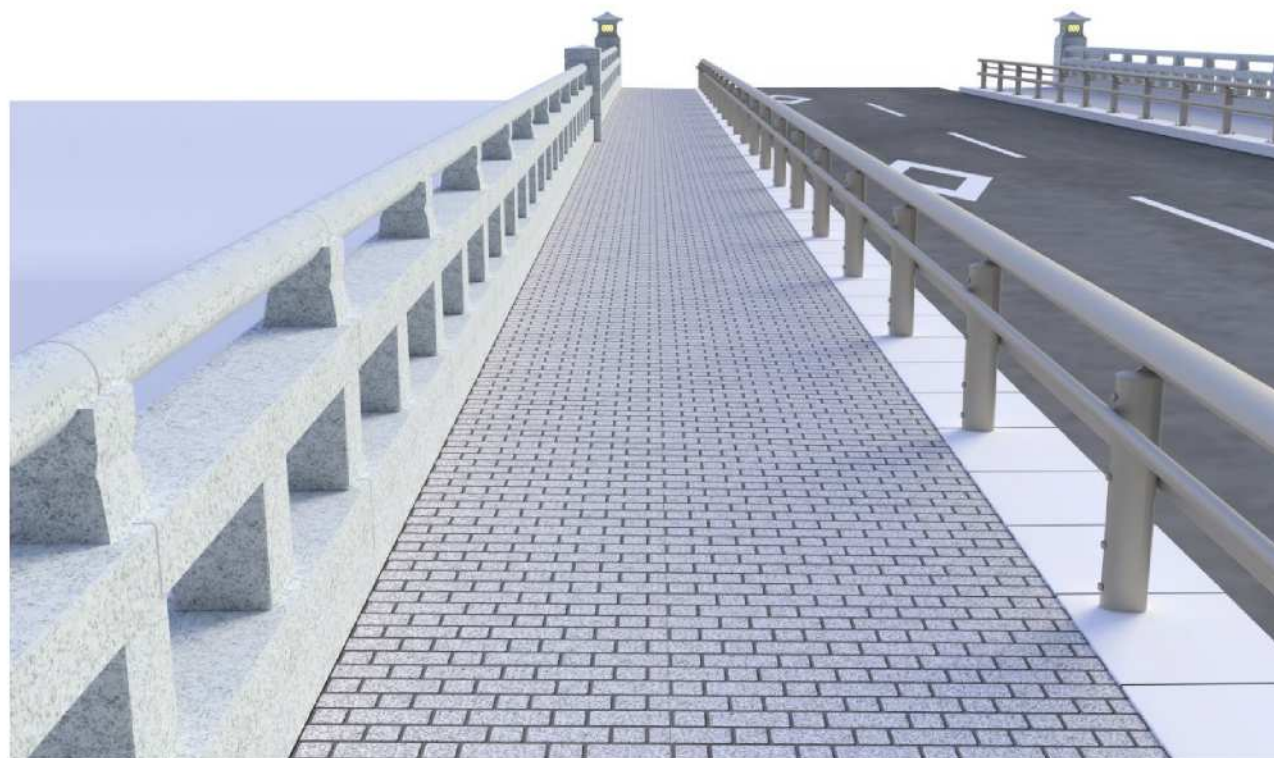
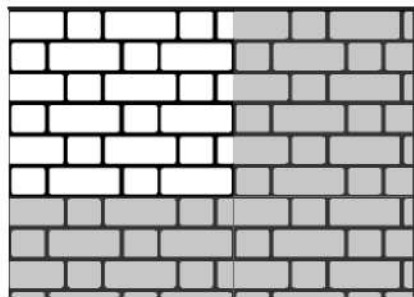
**A 案** (190 mm × 115 mm)



## ■ 歩道舗装

### ● 配置比較

**B 案** (190mm×90mm)  
(73mm×73mm)

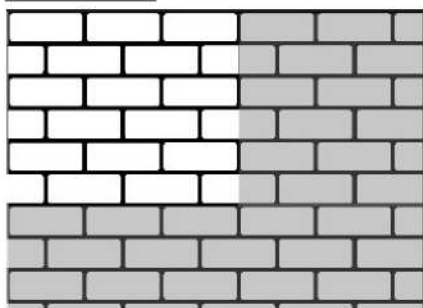




## ■ 歩道舗装

### ● 配置比較

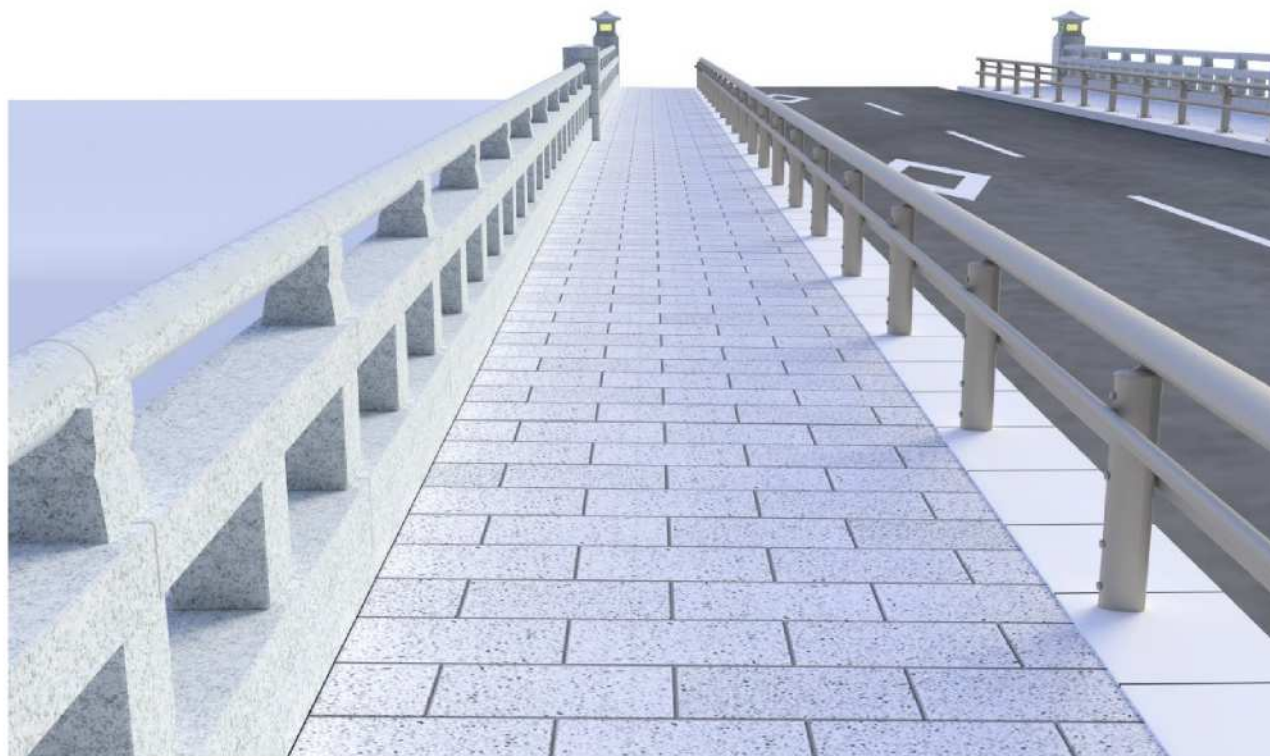
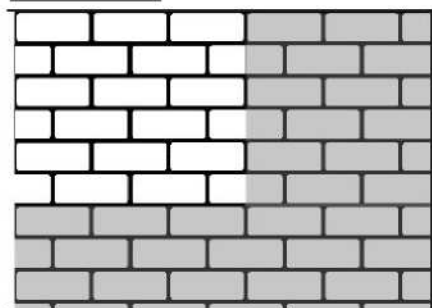
C 案 (73mm×190mm)



## ■ 歩道舗装

### ● 配置比較

**D 案** (300mm×600mm)



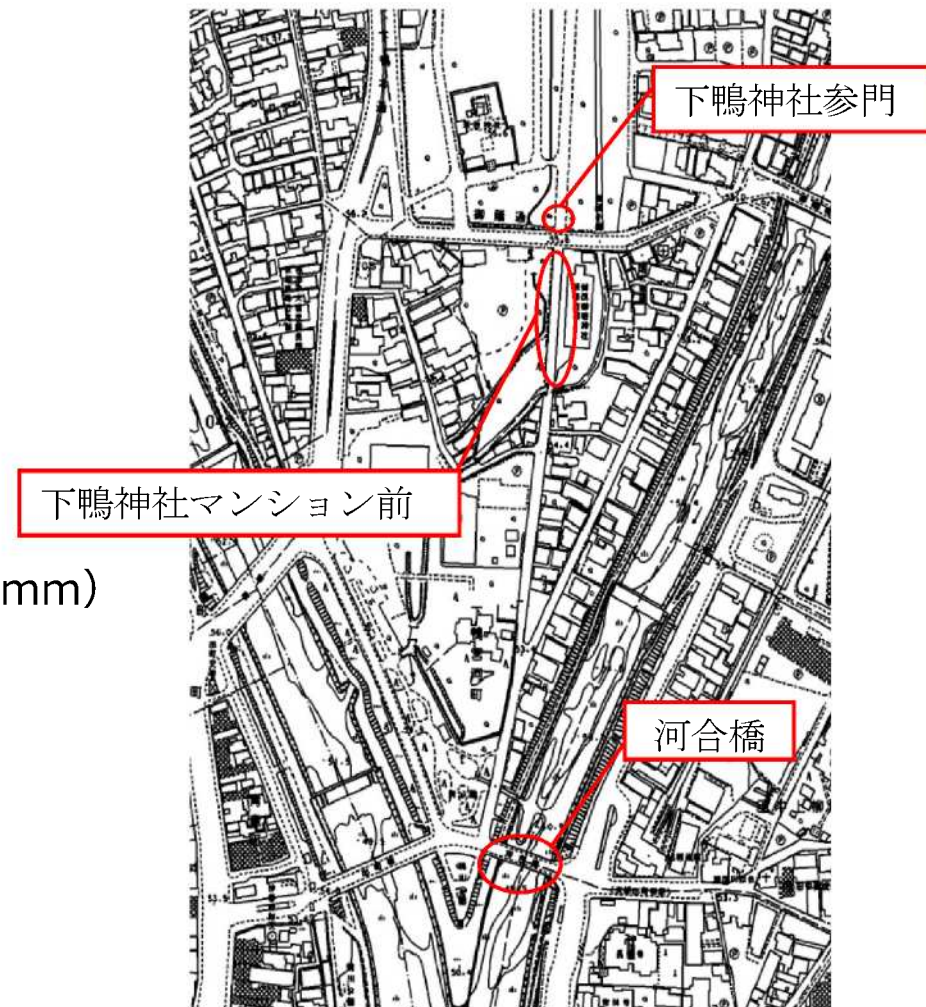
## ■ 歩道舗装

(参考) 周辺の石畳について

下鴨神社参門 (800mm×400mm)



下鴨神社マンション前 (900mm×450mm)

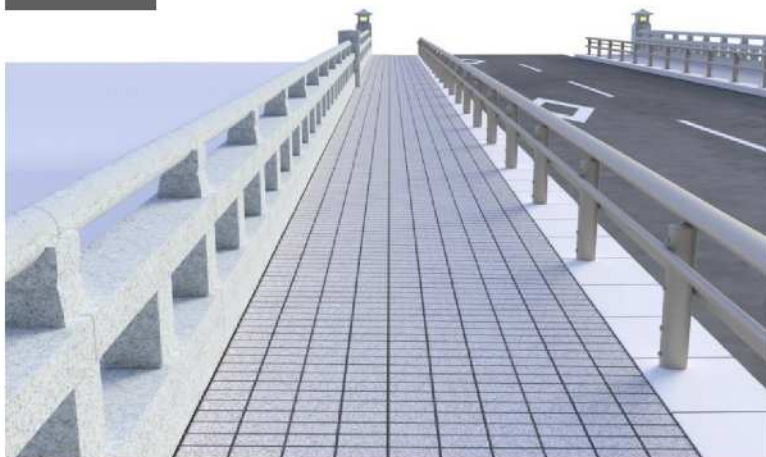




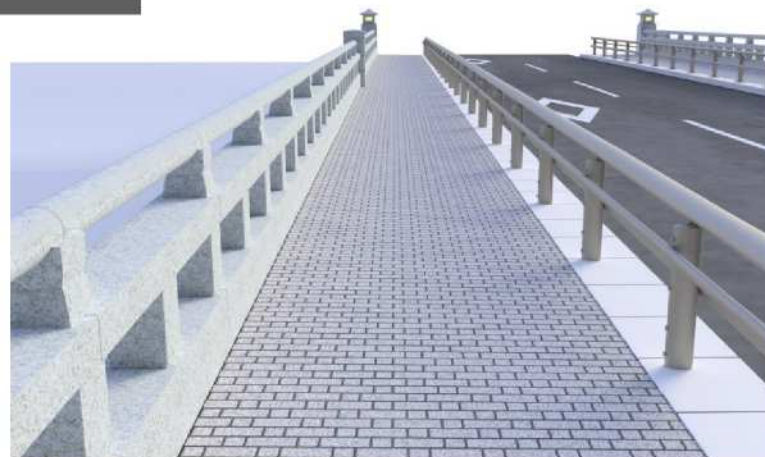
## ■ 歩道舗装

### ● 配置比較

A 案



B 案



C 案



D 案



## ■ 歩道舗装

### ● 色彩比較

① 白みかげ



(下鴨神社 参門)



(下鴨神社マンション前)

② グレーみかげ



(下鴨神社 参門)



(下鴨神社マンション前)

③ 黒みかげ



(下鴨神社 参門)



(下鴨神社マンション前)

## ■ 車両用防護柵

### 【前提条件】

- 歩行者の安全を確保するために、歩道と車道の境目に防護柵を新たに設置する。
- 防護柵の材質は、アルミとする。
- 形状は、高欄と整合を図り、景観に配慮したシンプルなデザインとする。



## ■ 車両用防護柵

### ● 塗装色の検討

#### A 案

青みがかったグレー系  
(御池大橋高欄 採用色)





## ■ 車両用防護柵

### ● 塗装色の検討

#### B 案

グレーベージュ系  
(賀茂大橋, 二条大橋  
採用色)



## ■ 車両用防護柵

### ● 塗装色の検討

C 案

ダークグレー系



## ■ 歩道照明

### 【前提条件】

- 照明の形状は、賀茂大橋からの眺望や「大文字」眺望景観の保全を図るため、ポール式は、採用しない。
- 歩道と車道の境目に設置する防護柵に照明を設置する。

## ■ 歩道照明

### ● 照明デザイン比較

A 案





## ■ 歩道照明

### ● 照明デザイン比較

B 案



## ■ 歩道照明

### ● 照明デザイン比較

C 案



## ■ 歩道照明

### ● 照明デザイン比較



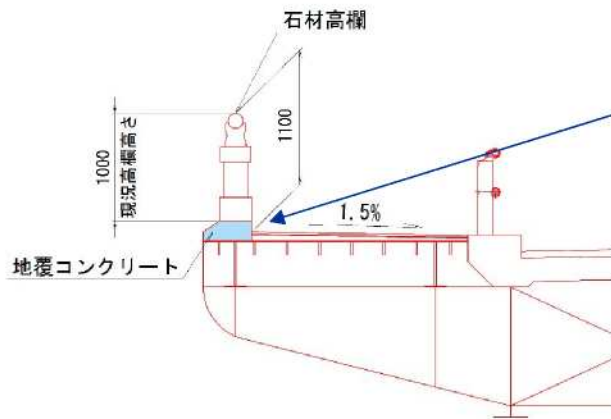


## ■ 高欄

### 【前提条件】

- ・ 再利用を行う。
- ・ 今の高欄高さが転落防止柵の基準に満たないため嵩上げを行う。(1.0m→1.1m)
- ・ 幼児の転落防止の対策を行う。

### ● 嵩上げ改修計画



改修計画



擬石調塗装



現況



改修イメージ

## ■ 高欄

### ● 石製高欄の転落防止について



**A 案**  
横棧案

150mm



**C 案**

格子案  
写真  
(高野橋)



**B 案**

縦棧案  
写真  
(御影橋)

150mm

